

2020
6月号

＊原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会
毎月1回6日発行
頒価 220円
電話 (03)5842-6031
FAX (03)5842-6033
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-2-4



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

**大阪原水協第6回理事会
平和行進&世界大会の成功**

ウイルス・地球環境・核兵器、人類の生存の危機
被ばく75年 いまこそ声をあげよう！

の間の「ヒバクシャ近畿訴訟」が延期となっていること、5月30日に予定していた「ヒバクシャ近畿訴訟完全勝利をめざすつどい」を延期することなどの報告があり、議題にうつりました。

ありました。また、新型コロナウイルスの影響でこの間の「ヒバクシャ近畿訴訟」が延期となっていること、5月30日に予定していた「ヒバクシャ近畿訴訟完全勝利をめざすつどい」を延期することなどの報告があり、議題にうつりました。

情勢の論議では、NPT再検討会議が延期され、核保有国が新たな核軍拡の危険性、日本に「敵基地攻撃」（毎日新聞）の中距離ミサイルの日本配備の可能性が現実味を帯びているとの指摘もあります。その後、4月16日の日本原水協常任理事会（オンライン）の報告が

大阪原水協は、5月14日第6回理事会を大阪市内で開催しました。新型コロナウイルス対策で通常は原水協事務所で開催されてい



▲第6回理事会（大保連会議室）

議題は「2020国民平和行進」と「原水爆禁止2020オンライン世界大会」について議論をしました。「府民感情に配慮した平和行進を肅々と実施しよう」6月30日（火）から始まる国民平和行進は4月9日に実行委員会が発足して実施要綱が決定しています。理事会で改めて今年度の平和行進の留意点を確認し、地域原水協においてもコロナ対策に十分配慮したとりくみを確認しました。出された意見をまとめると、

①規模を縮小しても肅々と実施する②市役所などの集合・解散場所では役所を尋ねる府民の感情に合ったアピールをする③宣伝カーにはアルコール消毒など準備する④熱中症の危険がある場合、行進を中止することも⑤医療従事者が大変な時期ではあるが行進には看護師を民医連の協力で配置する⑥飛沫感染の防ぐため行進者のピースコールやうたごえなどは中止、などで

「国民感情に配慮した平和行進を肅々と実施しよう」6月30日（火）から始まる国民平和行進は4月9日に実行委員会が発足して実施要綱が決定しています。理事会で改めて今年度の平和行進の留意点を確認し、地域原水協においてもコロナ対策に十分配慮したとりくみを確認しました。出された意見をまとめると、

す。そのため府民アピールする平和行進グッズとして「行進ペナ

ト」や「行進フラッグ」を大いに活用します。大阪原水協は「平和行進チラシ（版下）」を作成し、加盟団体・地域に配ります。**オンライン世界大会・平和の波を成功させよう**5月8日、原水爆禁止世界大会実行委員会総会が開催されました。その概要は、

◇国際会議・8月2日（日）10:00
◇世界大会・広島デー大会 8月6日（木）10時
◇世界大会・長崎デー大会 8月9日（日）

※いずれもWEBセミナー形式、参加者1000人
他のユーチューブも

大阪原水協は、この提起をうけて8月6日（木）エルおおさか南館で19時より、世界大会大阪集会を開催します。催し内容の概略は、世界大会広島デー大会（録画）を参加者で視聴、原水協からの行動提起、被爆者や他団体からの決意表明、最後に「平和の波」出発の記念撮影（詳細は次号）8月9日（日）は、天王寺とナンバ高島屋前で10時半から署名宣伝行動、11時02分「全員黙とう」で「平和の波」行動の終結となります。各地域でも同様な「平和の波」行動を展開します。それらの行動に必要な「平



▲2018年世界大会閉会総会の会場 2階席の壁に全国の「行進ペナント」が飾られています。

和グッズ」を用意しています。今年度の世界大会は現地、広島や長崎に代表派遣する取り組みではありませんが、大会成功を願う団体・個人のみなさんは、「行進ペナント」に記名していただいで、大阪原水協役員が現地広島にお届けします。広島実行委員会では8月4日（火）、原爆ドームから原爆資料館を全国から集まった「行進ペナント」で人間の鎖をつくる予定です。広島にあなただけの思いを届けます。「行進ペナント」は7月31日までに大阪原水協に届けてください。8月2日、3日に広島実行委員会に届けます。

核兵器禁止条約批准国

5月19日 中米のベリーズ批准
37か国(あと13か国で50か国に)

ヒバクシャ国際署名数

59万8184筆（4月30日現在）

大阪にもあったミサイル基地反対運動

能勢ナイキ・J基地化阻止50周年～1970年6月～

今から50年前、大阪能勢天王地区にミサイル基地建設を計画した防衛庁（当時）の計画が判明し、地元から反対の運動が生じたのは70年6月でした。今年50年を迎えます。どのような闘いがあったか振り返りましょう。

防衛庁の第三次防衛力整備計画にもとづいて、航空自衛隊第四高射群配備計画の具体化として大阪防衛施設局が、大阪府豊能郡能勢町天王地区の深山をミサイル基地の予定地に策定し、準備を開始した。配備予定のナイキ・Jは、アメリカのナイキ・ハーキュリーズという核ミサイルを非核化（三菱重工）したものの。但し、いつでも核弾頭に付け替えられるというもの。

- * 6月18日 天王部落総会反対決議
- * 6月25日 平和行進大阪入り（池田）
- * 6月26日 平和行進能勢町



入り（ナイキ基地反対の声）

- * 同日、能勢町議会「ナイキ設置反対」全員一致決議
- * 6月30日 「能勢のナイキ・J基地反対大阪連絡会議」を結成（平和が事務局）
- * 7月1日 「能勢町へのナイキ基地建設に反対する声明」発表（大阪原水協・大阪平和を守る会連名）
- * 8月6日 原水協禁止世界大会・広島大会、9日長崎大会に大阪代表団は「能勢町へのナイキ基地設置反対」ゼッケンをつけて参加

これ以降、大阪の平和・民主勢力が総力をあげて反対運動を展開し、7年間の闘いの結果、1977年3月18日、三原防衛庁長官（当時）が衆議院予算委員会で「断念」表明があり、闘いは勝利で終結しました。連絡会議は次のように総括しています。

- 一 能勢町議会の反対決議をはじめ1万町民の強い反対の意志
- 二 地元の闘いに連帯した大阪府下の平和・民主勢力の闘い（大阪総評も反対運動）
- 三 黒田革新府政の誕生、能勢周辺自治体の反対決議
- 四 全国の基地反対の闘いと連帯したこと



▲能勢ナイキ・J配備問題で防衛庁と交渉する大阪連絡会と共産党国会議員団（73.3.2） 田村氏提供



▲71.10.17 能勢ナイキ反対関西集会後の行進 <写真提供：田村茂美氏>

能勢の現地で闘いの先頭に立っていた大阪平和を守る会能勢支部が発行する機関紙「こぶし」



コロナ禍でもソーシャル・ディスタンスを守り 6・9行動



大阪原水協は五月七日、五月晴れのもと6・9行動を上六近鉄前で行いました。コロナ禍での宣伝活動、「原爆と人間」展パネルをソーシャル・ディスタンスを守って楽しく市民に訴えました。

参加した民医連の代表は「マスクも消毒液も不足。医療機関は崩壊寸前です。家族から仕事に行かないで訴えられる中、仕事をしています」、共産党の代表からは「戦闘機などの軍事費を削り、医療や福祉など生活関連に予算を回すべきではないでしょうか」、4月のニューヨークでのNPT再検討会議、世界大会に参加予定していた労働者からは「核兵器禁止条約を一日でも早く実現しよう」と訴えました。

ヒバクシャ近畿訴訟 大阪高裁判決不当判決

7歳、長崎の爆心地から4km地点の直爆とその後の入市被爆。被爆当時3歳余前立腺がん）に対し、「控訴棄却」の不当判決を下しました。

この判決は、原爆症集団訴訟以来の長い闘いの中で築き上げてきた到達点を踏まえ、最高

裁判官訴訟でしめした被爆と被害の因果関係、被爆の実相と正面から向き合わない判決内容となっています。さらに、地裁では争点になっていなかった事実認定（浦上川で水浴びをした）などの証言）についても被爆当時、原告が幼児であったことによる記憶や証言のあいまいさを理由にして疑問視していること、放射性降下物についての原告の主張も無視していることなど、「不当だった地裁判決よりも更に悪く、評価すべきところなくない不当判決であり、被爆者の実態を見ず耳を傾けずに、大したことはないという傲慢な態度であった」（藤原弁護団長）内容となっています。

Sさんからは、「目下、長崎で入院中であり移動もままならず、傍聴支援の皆さんには感謝するばかりです」とのお礼のメッセージが届けられました。

原告が勝利 「国は控訴するな！」

6月3日大阪地裁は厚労省による「原爆症認定申請却下処分」を取り消すとの判決を示しました。この間、不当判決が続いていましたが、今回の判決は被爆者を救済する当然の判決です。喫緊の課題は国に控訴させない事です。

当面の予定

- * 6月13日（木）10:30 第5回理事会 府内通し行進者結団式
- * 6月30日（日）11:45 国民平和行進幹線コース 奈良から引き継ぎ集会（柏原市役所・大和川河川敷）